

財団法人京都ユースホステル協会

# 2011 年度 事業報告書

期間：2011. 4. 1 - 2011. 7. 31

(財) 京都ユースホステル協会は  
新しい旅と、旅する青少年の健全な成長を応援します。



---

〒 616-8191 京都市右京区太秦中山町 29 宇多野 YH 内  
TEL : 075-462-2312 FAX : 075-462-2289  
<http://www.yh-kyoto.or.jp/> E-mail : [kyh@yh-kyoto.or.jp](mailto:kyh@yh-kyoto.or.jp)

---

## 目 次

	頁
目 次 .....	2
<b>I . 2011 年度 7 月末 協会概況 .....</b>	
(1) 目標達成状況 .....	3
(2) 決算概況 .....	4
<b>II . 事業運営 .....</b>	5
(1) ユースホステルを広く知ってもらおう事業展開	6
(2) 新しい事業の基盤づくりや環境整備 .....	6
<b>III . 指定管理事業</b>	
(1) 京都市宇多野ユースホステル .....	7
(2) 宮津市天橋立ユースホステル .....	9
(3) 格致つどいの広場 .....	9
<b>IV . 法人運営 .....</b>	10
<b>決算資料</b>	
<b>2011 年度 (平成 23 年度) 7 月末決算書 .....</b>	<b>11</b>



# I 2011年度7月末 協会概況

## (1) 目標達成状況 目標：ユースホステルの認知度を高める

**1** 数値目標：総合利用者数  
50,000名 (対前年比 10.3%増)

### ■宇多野ユースホステル年間宿泊者数 36,000

9,811名 (4月～7月実績)  
同期間中の達成率 82.1% (対前年比 82.8%)

3月に起こった東日本大震災は、特に外国人宿泊に大きな影響を与えました。発生以降、外国人のキャンセルが相次ぎ、対前年同期比は31.5%と大きく落ち込みました。発生直後より京都市担当課と協議し、帰宅困難者の受け入れ、被災者・避難者のみの受け入れや優先した受け入れといった措置を講じました。5月13日より通常運営に戻しました。

### ■「旅」事業・イベント参加者数：10,000名

5,799名 (4月～7月実績)  
同期間中の対前年比 211.3%

昨年度6月より開始した宇多野ユースホステルでの毎日行う交流イベント企画「エブリデイワン」や人が集う空間作りをしている「旅カフェ」、共催開催の子ども事業の「アスレンジャー」、今年3月～6月に行った町歩きイベント「まいまい京都2011春」等、昨年度より継続した事業を行い好評を博しています。

## 2 実行指針

### ■新しい「旅」関連事業を開発し施行

修学旅行や海外からの教育旅行、大学生のキャリア教育向けに、ユースホステルでできる、または周辺でできる体験プログラムの策定に入りました。また京のアジェンタ21フォーラムや京都市景観・まちづくりセンター等と連携し、市民が主体的に関わり地域活性化と観光振興を結び付ける「しみんツーリズム」について協議に入りました。

### ■天橋立ユースホステル年間宿泊者数 3,770名

923名 (4月～7月実績)  
同期間中の達成 88.3% (対前年比 97.0%)

東日本大震災による宿泊への影響はありましたが、今後を見据えた事業や運営の再整備、施設の補修繕や天橋立・丹後の海、里、山の資源を活かしたツアーや体験プログラムなど、地域との連携や協力による滞在の魅力づくりや体験による学びの機会の提供や環境整備に取り掛かっています。秋以降には事業を実施してまいります。

### ■ホームページアクセス/新聞掲載

協会ホームページアクセス  
6,381アクセス (4月～7月実績)  
新聞・雑誌等記事掲載 21件  
その他 ラジオ出演 (NHK) 1件

ホームページについては、情報の更新が不十分であり、アクセス数が伸び悩んでいます。新聞・雑誌の掲載については、今年度から取り組んでいるしみんツーリズムに関する記事が定期的に京都新聞に掲載されたことが増加の一因です。

### ■世界 (海外) との連動

震災および円高の影響で外国人客の減少は回復していません。一方、海外旅行はチャンスとなっております。海外のユースホステル協会と協力して日本から海外へ旅立つ旅行企画を今後さらに進めていきます。

### ■実行体制 (外部含む) の整備

一般財団法人への移行登記が完了しました。外部資源と合同での事業化に取り組んでいます。

## (2) 決算概要

	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
会計期間	自07年4月	自08年4月	自09年4月	自10年4月	自10年4月
	至08年3月	至09年3月	至10年3月	至11年3月	至11年7月
経常収益(千円)	251,951	306,941	204,285	192,221	61,486
経常増減額(千円)	▲10,444	▲18,123	16,208	5,030	3,095
当期増減額(千円)	▲17,692	▲18,133	9,341	5,030	3,095
正味財産(千円)	70,731	52,599	61,936	66,966	69,061
基本財産(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
職員数	38名	38名	12名	13名	12名
(内非正規)	(6+6名)	(6+6名)	(4+3名)	(4+4名)	(5+1名)

**当期正味財産は、69,061,063円。**

**10年度末から3,095,160円増加しました。**

震災や円高などの厳しい社会情勢ではありましたが、財務については引き続き順調に正味財産の増加しています。その要因は、安定的な指定管理事業を収入が柱となっています。

(各会計のポイント)

### 1. 一般会計

収入	支出	収支
3,988,248	5,607,111	▲1,618,863

ほぼ予算どおりの執行となっています。

### 2. 物資頒布・受託事業会計

収入	支出	収支
18,268,835	17,459,743	809,092

宿泊実績の減少により収支は微増です。

### 3. 宇多野ユースホステル特別会計

収入	支出	収支
36,108,305	31,727,099	4,381,206

宿泊実績は減少ですが指定管理事業による委託料の減額はないため正味財産は増加しています。

### 4. 天橋立ユースホステル特別会計

収入	支出	収支
5,967,112	6,537,884	▲570,772

宿泊実績の減少および、施設整備および運営体制強化に伴い収支均衡には至っておりません。

### 5. ユースホステル建設基金特別会計

収入	支出	収支
94,812	315	94,497

円高の結果、利息収入が減少しています。

### ■公益目的財産額の算出

法人移行に際して、従来の公益法人が税制上の優遇などにより法人内部に留保した財産(公益目的財産額)を移行後には、本来の目的である公益目的に支出することにより最終的に0にするための支出計画(公益目的支出計画)を作成するために7月末時点での時価評価で算出しています。

公益目的財産額	55,539,820
貸借対照表の純資産	69,061,063
時価評価額と簿価との差額	-13,521,243

※時価評価額と簿価額との差額は、当協会保有する有価証券の時価評価額に算出した際に出る差額です。

### 正味財産

(千円)



順調に正味財産を増加させております。

## II 事業運営

### 1 「旅」事業・イベント総参加者数 10,000名（対前年比10.3%増）

#### ■事業の継続による認知の向上と若者の活躍

5,535名（4月～7月）  
同期間中の対前年度比199.5%

震災の影響により宿泊実績の減少はありますが、日本人向けのイベントが多いため、事業・イベントには大きな影響は見られませんでした。

また、昨年度からの継続事業が対象となる人に認知されてきたことで徐々にリピーターができたことが好調の原因と推測されます。

宇多野ユースホステルで開催した地域向けのお祭り「スプリング・フェスタ」（前年度500名増）は好天にも恵まれたことまた、50名を超える大学生を中心としたボランティアが関わってくれたことで例年以上に賑わったフェスタを開催出来ました。

若者が活動できる場の創出として昨年度より実施している「旅カフェ」、また今年度から立ち上げた「若者コンシェルジュ」など若者が地域の隠れた魅力の発見とそれを旅人に情報提供するという形で、「地域」と「旅人」をつなぐ活動に取り組んでいます。

### 2 外部と連携したイベント実施回数 500回（対前年比10.3%増）

#### ■外部協力者と連携した継続事業の実施

4,205名（4月～7月）  
同期間中の対前年度比141.5%

当協会の方針の一つとして様々な関係機関や外部資源と連携した事業展開・構築を昨年度から継続して実施しています。また新規事業につきましても同様に外部連携を図りながら進めています。



↑若者コンシェルジュ「キョウノヨリミチ」風景



↑スプリングフェスタ「子どもの遊び体験」風景

### 3 事業・イベントによる天橋立ユースホステルへの誘致 延300泊

#### ■子どものイベントを手始めに送客を予定

7月末までの時点では宿泊誘致に関連した送客はありませんが、8月以降には、ネイチャーキッズ・アースキッズの2つの事業で約120泊程度の天橋立ユースホステルへの送客を予定しております。今後は現地のガイドツアーとの連携をはじめ、地域と連携した大人向けの送客も行っていきます。

## (1) ユースホステルを広く知ってもらう事業展開

### 1. 青少年育成事業の実施 延 733 名参加

事業・イベント名	段階	状況
a. 旅カフェ・プロジェクト	実施	月 2 回のカフェの開催他、学生の映画祭・トークイベントなどを開催 11 日間延 204 名 Ustream 視聴 70 件
b. 旅プランニングワークショップ	企画	京都商工会議所主催で開催予定
c. 中学生生き方探究・チャレンジ体験	実施	各 5 日間 2 校（双ヶ丘・西京極）計 9 名
d. インターンシップ事業	実施	立命館大学および大学コンソーシアムより 5 名受入れ
e. アースレンジャー	実施	年中から中学生対象にした年間自然体験活動 年間 77 回のうち 27 回実施 延 461 名
f. アースキッズ	企画	夏休み以降の実施に向けて宣伝・準備
g. フレンドステイ-なかよし宿泊プラン-	企画	夏休み以降の実施に向けて宣伝・準備
h. ネイチャーキッズ	実施	小学生を対象にした自然体験活動 年間全 10 回のうち 3 回実施 延 59 名

### 2. 遊ぶ（ユースホステルでの宿泊を楽しむ）事業の実施 延 1,431 名参加

事業・イベント名	段階	状況
a. エブリデイワン	実施	宇多野ユースホステルでほぼ毎日開催。1,351 名参加
b. 若者コンシェルジュデスク	実施	「キョウノヨリミチ」イベント開催 旅行者向け相談デスクオープン 延 80 名
c. 京都を楽しむヘルスツアー	企画	昨年モニター実施したヘルスツアーの催行を検討
	企画	食物アレルギーを持つ家族向け旅行を企画中

### 3. 国際協力・交流事業の実施

事業・イベント名	段階	状況
a. JICA 青年研修事業	準備	来年 1 月後半で実施予定。アフリカ青年対象 テーマ「地域における中小企業振興」
b. マンチェスター・ユナイテッドプログラム	構想	来年度実施に向けて関係機関と協議
c. 内閣府青年社会活動コアリーダー養成	予定	ドイツへ職員 1 名派遣予定
d. フィリピングローバルスタディーツアー	実施	ヒューマンアクティベーションが企画 旅行手配協力

### 4. 活動普及事業の実施 延 2,130 名参加

事業・イベント名	段階	状況
a. タビガラ。	企画	第 2 回旅コンテストタビガラ。企画中
タビガラ。プレイイベント「部長ですカラ」	実施	京都 YH 部公開部長会議の実施 Ustream 視聴 68 件
b. スプリング・フェスタ	実施	6/4 実施 1,500 名宇多野ユースホステルに来場
c. みんな歩こうファミリー万歩	実施	京都新聞社と共催のウォーキング月 1 回開催延 630 名

## (2) 新しい事業の基盤づくりや環境整備

### 現在実施・企画中の事業 延 331 名参加

事業・イベント名	段階	状況
a. 宇多野ユースホステルでの体験イベント	企画	近隣の職人・店舗への打診・モデルプランの検討
b. 大学生向け体験活動ツールの開発	企画	京都光華女子大学でのキャリア教育との連携を検討
c. 天橋立での既存事業実施回数の促進	企画	アースキッズ・ネイチャーキッズで実施予定
天橋立周辺の資源を活用した事業開発	構想	海でのイベント・農業体験などを検討
d. しみんツーリズム実行委員会の立ち上げ	実施	市民が参画し地域活性化を目指すツーリズムの検討 景観・まちづくりセンターやアジェンダ 21 との協働
「まいまい京都 2011 春」開催	実施	春 301 名 ガイド研修 12 名。夏以降計画。
「京都・旅しよう!! 百人一首巡り」開催	実施	2 回開催 18 名
e. 20 代の旅メジャー	企画	旅と自己診断ツールの製作。倉敷紡績（株）協力

### III . 指定管理事業

#### ■ 京都市宇多野ユースホステル：京都市より指定管理者として受託

**1 年間宿泊実績目標 36,000 名  
(ベット稼働率 58.0%)【年間目標】**

#### ■東日本大震災による外国人宿泊者の大幅減少

9,811 名 目標達成率 82.1%  
(対前年同期比) 82.8%  
内訳) 日本人：108.2% 外国人：31.5%

震災発生直後より外国人宿泊予約のキャンセルが相次ぎ、特に 5 月は前年度比 18.8%まで落ち込みました。また、4 月や 5 月に予約のあったオセアニアからの学校団体は一部 9 月や 10 月に延期となりましたが、その後の状況が好転しないこともあり、最終的にキャンセルとなる場合も発生しています。

日本人の宿泊に関しては、関東への旅行が敬遠されることによる京都旅行の増加が見られ、宇多野ユースホステルでも日本人の宿泊が増加しました。その傾向としては、10 代までの全ての年齢区分で増加（合計 870 名増／対前年同期比 130%）し、20 代以上の全ての年齢区分で減少（合計 222 名減／対前年同期比 95.3%）しました。

7 月末の時点で、京都への外国人旅行者は少しずつ回復してきているように感じます。秋以降の外国人宿泊者獲得に向けて、継続的に広報や PR を続けたいと思います。

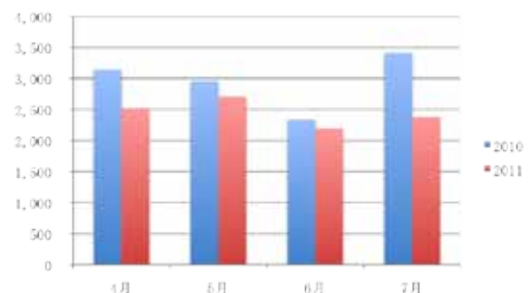


↑取材風景「ここはふるさと旅するラジオ」

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	
宿泊総数	2,523	2,710	2,197	2,381	
内訳	日本人男	1,105	1,423	962	896
	(対前年比)	124.6%	121.3%	131.8%	96.1%
	日本人女	1,153	1,193	914	930
	(対前年比)	104.2%	93.0%	102.8%	100.3%
	外国人男	157	52	132	210
(対前年比)	28.8%	19.5%	31.3%	11.3%	
外国人女	108	42	189	345	
(対前年比)	18.0%	18.0%	63.4%	41.8%	
目標総数	2,550	3,150	2,600	3,650	
前年度総数	3,141	2,956	2,339	3,414	

#### 月別宿泊実績比較

(人)



すべての月で前年度を下回りました。特に、7 月について外国人客の減少が影響しました。

#### 対象別宿泊構成



日本人が 66.9%から 87.4%と大幅に増加しました。外国人は男性の減少割合が高くなっています。

## 2 国際ユースホステル連盟利用者満足度 フレンドリー部門 1 位【年間目標】

### ■ 2011 年度総合で現時点で 24 位 91.7%

世界 4000 ケ所あるユースホステルの評価は毎年 11 月～翌年 10 月までの期間で年間 50 件以上の宿泊者評価があるユースホステルが対象に行われてます。

現時点で当初目指した 95% 以上の評価に達成している部門は Confort と securly の 2 部門のみに留まっています。他部門は更なる努力が必要です。

## 3 宿泊者における食堂での摂取状況

### ■ 宿泊者の減少に伴う摂取数の減少

朝食 8,369 食 摂取率 85.3% (対前年比 91.1%)  
 夕食 5,078 食 摂取率 51.8% (対前年比 77.2%)  
 特別食 824 食 摂取率 8.4% (対前年比 51.2%)

摂取数は前年同時期に比べて朝食・夕食・特別食全てにおいて減少しております。

## 4 指定管理における基本方針 4つの拠点の進捗状況

### 1. 思い出深い京都の旅や交流をサポートする “活動拠点”

- 海外ユースホステルとのネットワーク構築  
現在オーストラリアのレイルウェイホステルから姉妹ホステルの打診を受けています。
- ニーズや満足度を把握する取組みの実施  
利用者へのアンケートの実施をしています。
- エブリデイワン事業の継続実施  
宿泊者同士、宿泊者と地域の交流促進を図るイベントを毎日実施中です。(参加者数は P7)

### 2. ほんものに気軽に触れることが出来る“体験拠点”

京都の文化・歴史・自然・人などを京都に住む方が旅行者に対して体験を通して伝えていきます。

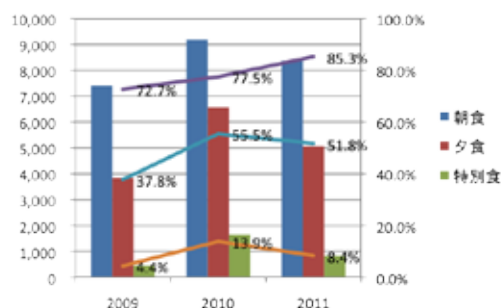
(取組み)

- 百人一首をテーマにした街歩き
- 京友禅体験、西陣織がま口づくり
- そば打ち体験 …など

### HIhostels 利用者評価(10年11月-11年7月)

Friendliness(親しみやすさ)	93%
Efficency(効率性)	91%
Comfort(快適さ)	96%
Cleanliness(清潔さ)	94%
Security(安全性)	95%
Location(立地)	80%
Total	92%

### 対象別宿泊構成



摂取数は減少しておりますが、朝食の摂取率については年々増加傾向にあります。

### 3. ニューツーリズムを試み生み出す“創造拠点”

事業部を中心に、商品化に向けた検討、取組みを行っています。

(取組み)

- 京都を楽しむヘルスツアー
- アレルギーを持つ親子の旅行企画  
※京都市ニューツーリズム創出事業
- 海外インターンとの交流機会の提供 …など

### 4. 安全安心の町づくりに貢献する“地域拠点”

右京区行政推進会議 オブザーバー出席

※区役所、消防、学校などで構成された区運営を検討する会議

### ※宇多野ユースホステル独自のイベント

事業・イベント名	状況
桜一般公開 (4/1-10)	約 800 名来場
広沢の池写真展 (4/8/17)	ロビー展示
スプリングフェスタ (6/4)	約 1,500 名来場
庭園整備ボランティア (7/10)	64 名参加



## ■ 天橋立ユースホステル：宮津市より指定管理者として受託

### 1

#### 地方型ユースホステルの成功モデル確立

##### ■地域資源を活用した事業や運営に取り組む

東日本大震災の影響等、厳しい環境でしたが、これまでの「待ちの運営」から丹後・天橋立エリアの海、里、山や歴史、文化、自然の他、地域に点在する文化や活動施設等を活かした散策や体験、学び等の事業を育てるための資源の把握や事業開催に向けて各方面への協力依頼や施設の整備、運営のための人材の採用などを行いました。

その結果、食事摂取率の改善（朝食 73.2%、夕食 67.8%）や7月に前年度実績（352人）を上回るなど利用増の取組みが成果を上げつつあります。

（取組み事項）

- 1) 地域の資源を活かした体験事業等の開催
  - a) カヌー体験や休耕田を活用した農業体験等の事業開催に向けて地元関係者への説明や協力依頼等を行い、今秋以降の実施準備をしています。
  - b) 地域の自然や景観、暮らし等を紹介するガイドツアーと連携した宿泊企画を準備
  - c) 海外からの研修生と地域の学校との交流促進による海外からの青少年グループの受入れ環境整備や受入れ協力の学校等の開拓
    - ・フィンランド、ロシアからの研修生が宮津市府中小学校で交流

2) 新しい運営の為の体制の整備

- a) 地域の資源を活かした運営を可能にする人材の採用ならびに長期ヘルパーを活用した効率的な運営を試行。

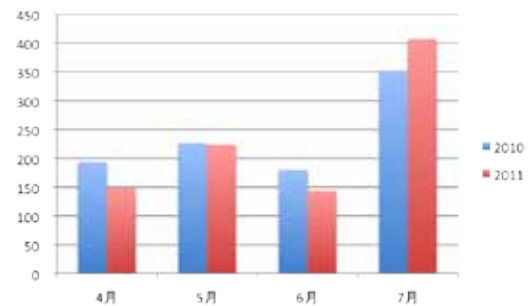
・6月より新しい職員を採用。7月より長期ヘルパーの採用。

3) 情報発信等の充実

- a) 地域の体験プログラムやガイドツアー、もの作り体験等をホームページで紹介。
- b) 秋に向けて旅行雑誌や活動紹介冊子等へ情報掲載を依頼（マップルマガジン等）

#### 月別宿泊実績比較

（泊）



7月の実績は15.6%（55名）の増加になりました。それ以外の月は減少となりました。

## ■ 格致つどいの広場：「京都市子育て支援活動いきいきセンター」受託事業

### 1

#### 運営スタイルの転換

##### 多様な場所と機会の提供

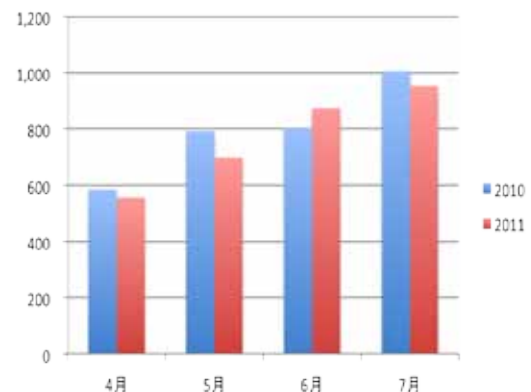
##### ■運営スタイルの転換

3,081名（4月～7月実績）対前年度比96.8%

つどいの広場事業をより望ましい形で運営出来るように、元利用者からのスタッフの確保や協力運営団体の調査を開始しました。

##### ■多様な場所と機会の提供

前年度に引き続き、子育て中の親に役立つセミナーの実施や子どもが安心して遊べる場所の提供を行いました。



利用者の入れ替り期で利用数が減少しました。

天橋立ユースホステル／指定管理事業

## IV 法人運営（総務部）

### 1 制度・組織の整備 認知度向上に対する取り組み

#### ■制度・組織の整備

- 一般財団法人への移行法人の登記
- 組織変更に伴う諸規程の見直し
- 月次報告書式の試行・整備

#### ■認知度向上に対する取り組み

- メールマガジンによる情報発信を試行  
(10月より本格運用)
- 事業ごとでのブログ・Twitter・フェイスブックを開設、発信を試行。

(参考資料) .....



↑タビガイベント「部長ですカラ」風景

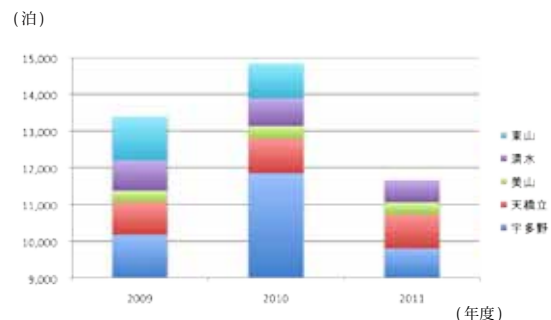
### 1 京都府下の状況

#### ■震災と東山ユースホステル閉館による影響を反映

11,663名（4月～7月実績）  
対前年比 84.0%

美山ユースホステルは 325 名（前年比 97.0%）  
清水ユースホステルは 604 名（前年比 80.5%）  
となりました。外国人旅行者が多いユースホステルほど影響が大きくなっています。

京都府下ユースホステル宿泊実績



東山ユースホステルの閉館ならびに、宇多野ユースホステルの大幅減が影響しています。

### 2 国際ユースホステル連盟の動向

#### ■海外からの予約約 38.6%減少、国内 13%増加

震災の影響は非常に大きく、海外から日本へ来る宿泊予約は、国際連盟インターネット予約 (HiHostels.com) によると 1月～7月で約 38.6%、震災後は約 45%減少しました。一方日本人の宿泊予約件数は震災後増加しています。

#### ■新しい会員制度「Emembership」スタート

HiHostels.com にて個人会員限定でインターネット会員入会が年度末には開始される予定です。  
会員入会に関する業務は、今後大きく変化します。

#### Hihostel.com での国別予約先 11年1月～7月

		2010年	2011年	前年比
1	フランス	180,801	166,200	▲ 8.1%
2	アメリカ	132,264	134,657	1.8%
3	イングランド	61,427	60,131	▲ 2.1%
4	イタリア	52,370	59,399	13.4%
34	日本	7,857	4,824	▲ 38.6%
	合計	1,008,122	959,760	5.0%

#### Hihostel.com での国別利用者 11年1月～7月

		2010年	2011年	前年比
1	フランス	122,117	125,659	2.9%
2	ドイツ	105,761	119,559	13.0%
3	アメリカ	91,528	94,016	2.7%
4	スペイン	99,827	85,866	▲ 14.0%
8	日本	36,075	40,747	13.0%
	合計	1,008,122	959,760	5.0%

組織概要 (2011年7月31日現在)

【団体名】	財団法人 京都ユースホステル協会
【代表者の役職氏名】	会長 堀場 厚
【財団設立】	1968年2月12日
【団体役職員数】	理事 11名 監事 2名 評議員 23名 職員 12名
【団体所在地】	京都市右京区太秦中山町29 宇多野ユースホステル内
【電話番号】	075-462-2312 (代表)
【監督官庁】	京都府教育委員会